

第3回ふくいの農業を考える会 委員意見概要

《日時》	平成20年3月21日(金) 13:00~15:00
《会場》	県民会館306会議室
《出席者》	安実 正嗣 農業者 伊藤 浩一 農業者 上野 香代子 農業者 香川 哲夫 福井県経済農業協同組合連合会 理事参事 白崎 誠 農事組合法人 越前国中 代表理事組合長 祖田 修 福井県立大学 学長
	山本 清隆 JA テラル越前 指導販売部 営農特産課長 吉村 文雄 株式会社 吉村甘露堂 代表取締役
《欠席者》	中田 典子 小浜市食のまちづくり課 政策専門員(食育)

《概要》

- 1 県内各地での意見交換会説明
- 2 意見書(案)に関する意見交換

(委員からの主な意見)

- ・ 福井県農業を担う者として個人農家と集落営農を同等に扱ってほしい。
- ・ 一般家庭にも米粉を普及させる方法(小麦粉の代替素材として使用)を検討してほしい。
- ・ カントリーエレベーターを有効に活用する方策が必要である(統一した栽培方法ごとに乾燥調整することも可能である)。
- ・ 福井県民、特に農業者が一杯でも米を多く食べるような運動が出来ないのか。
- ・ 今後の福井県農業を担う新規就農者への支援を拡充する必要がある。
- ・ 集落営農を法人化し、地域の人たちも安心して農地を任せてくれる。集落営農も地域に認められる存在である。
- ・ 本当に頑張る農業者、組織を応援できるような制度設計する必要がある。
- ・ 余熱の農業活用等を検討できないか。
- ・ 生産調整については、遵守している県へのメリット対策を国に要望してほしい。
- ・ 園芸の生産が減少を続けており、維持を前提とした支援も重要である。
- ・ 農商工連携のためには、越前漆器と県産食材のコラボレーション等、多種の連携が考えられる。